

100周年に向かって さらに輝くまちへ

新年明けましておめでとうございます。

旧年中におきましては、市政運営への温かいご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

また、市制施行50周年記念事業におきましても、市民の皆様、各団体の皆様、そして事業者の皆様には、感染対策を講じながら各事業に大きなお力添えをいただきましたこと、感謝申し上げます。

今、社会を取り巻く環境は、世界的な気候変動に伴うグリーン分野への対応やポストコロナに向けたデジタル分野の加速化などにより、大きな変革の時代を迎えております。

私は、昨年から実施しているさまざまな市制施行50周年記念事業を通して、市民の皆様の笑顔の花を咲かせ、コロナ禍で失われた人と人との絆を取り戻すべく努めてまいりました。

今年はその笑顔と絆のチカラを礎に変革を実現し、市民の皆様とさまざまな困難を乗り越え、100周年に向けて輝き続けるまちをつくっていくスタートにしたいと思っております。

最初に新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ切り札となるワクチン接種についてですが、本市では昨年10月からオミクロン株対応ワクチンの接種が開始され、12月4日時点で、約1万9千人の方が接種をし

ております。今後多くの方に接種していただけるように引き続き富士見医師会としっかり連携して取り組んでまいります。

本市の成長戦略の柱となるシティゾーンにつきましては、引き続きアクセス道路の整備を進めるとともに、埼玉県と連携し、雇用や賑わいを生む企業誘致を進めてまいります。

また、新たな賑わいを生み出し、すべての世代が憩い、楽しめる拠点として、パークゴルフ場やキャンプ場などを整備したびん沼自然公園が4月にリニューアルオープンします。

さらに、豊かな自然と湧水が残る市民緑地「御庵」を、隣接する古民家と併せて整備して地域活性化につなげていく取組みも進めてまいります。

学習環境の向上と災害時の避難所としても活用する学校体育館へのエアコン設置工事につきましては、昨年末までに6校の工事を終えており、引き続き全学校へ順次設置をしてまいります。

そして、市役所新庁舎の整備にあたっては、環境に配慮した施設とするとともに、デジタル・トランスフォーメーションの導入とワークスタイル改革により業務の効率化と創造性を高め、市民サービスの向上につなげられるよう取り組んでまいります。いよいよ未来へつなげていく市制



施行50周年記念事業も大詰めを迎え、3月21日(祝)には、「FUJIMI☆クラフトビアフェスタ」がキラリ☆ふじみで開催されます。多くの市民や事業者が実行委員となって企画から準備を進めており、県内のクラフトビールや市内の自慢のフードメニューなどを楽しんでいただけではありません。交流イベントとなっており、ぜひ多くの方にお越しいただきたいと思っております。

すべての市民の皆様が夢や希望を持ち、笑顔で輝きながら暮らせるまちづくりを目指して、今年も全力で市政運営に取り組んでまいりますので、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

市長 荒井 弘光



新年のごあいさつは動画でもご覧になれます。